

令和5年度第2回浜松市森林・林業未来構想会議

次 第

日時：令和5年11月6日（月）午後1時30分～

場所：静岡県浜松総合庁舎7階 701会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

（1）情報共有

- ・令和5年9月会計実地検査について
- ・国の動向について（スギ花粉症対策等）

（2）意見交換

- ・今後のスケジュールについて
- ・浜松市の森林・林業の課題について

（3）その他

4 報告、連絡事項

（1）次回について

5 閉会

（配付資料）

資料1 浜松市森林・林業未来構想会議スケジュール案

資料2 浜松市の森林・林業における課題の整理

浜松市の森林・林業における課題の整理

(資料2)

【意見交換内容】

タテ軸の分野ごとに発生している課題が、ヨコ軸の何年後に解消すべきものなのかにより、整理していきたいと考えます。

課題を解消すべき時期 分野	1年後 (2024年)	5年後 (2028年)	50年後 (2073年)	100年後 (2123年)
川上	<ul style="list-style-type: none"> ●山林所有者がカーボンクレジットのことを知らない ●木材生産量の目標（173千m³）の達成が困難 ●FSC材生産量の目標（135千m³）の達成が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ●6森林組合が合併できない ●環境貢献がお金にならない 	<ul style="list-style-type: none"> ●山林所有者が山を手放したい ●山林労働者の労働事故が10倍 	<ul style="list-style-type: none"> ●林齢に偏り ●山林の売買に海外資本が入ってきそう ●林業（木こり）の人気がない
川中	<ul style="list-style-type: none"> ●製材品に関する明確な目標がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●大型製材工場の要否の答えが出せない ●製材工場の数が減少している ●製材分野の将来像がみえない 	<ul style="list-style-type: none"> ●集成材、CLT材の生産ができない ●他の産地に比べ、生産力がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国的な木材製品の産地でない
川下	<ul style="list-style-type: none"> ●住居事業の目標（250棟）の達成が困難 ●住居事業や天竜材をPRする新たな手法がない 	<ul style="list-style-type: none"> ①木造の公共建築物が少ない ●シンボリックな木造、木質化物件が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ①市内ゼネコンの木材利用に対する苦手意識 ●国産材利用がトレンドではない（SNSでバズらない） ●大工の人気がない 	<ul style="list-style-type: none"> ●家を建てる時、使われている木を気にしない ●大手ハウスメーカーに天竜材住宅が負けている
全域	<ul style="list-style-type: none"> ①環境配慮の原点に戻って再考すべき ①川上～川下の相互理解 	<ul style="list-style-type: none"> ①深刻な担い手不足 ①森林・林業体験のフィールドが不足 ①市としての譲与税活用方針（理念）の整理 ●木材のセールスマンが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の教育課程で林業を教えていない ●“天竜材を使ったいい家（建物）”が普及しない 	<ul style="list-style-type: none"> ●天竜材が市内で循環するサイクルができていない ●天竜材の認知度が市内だけでなく、市外・国内外でも低い

※①：第1回会議でいただいたご意見を記載したものです。●：事務局意見を記載したものです。